

群発性頭痛

患者様情報

来院されるまでの症状

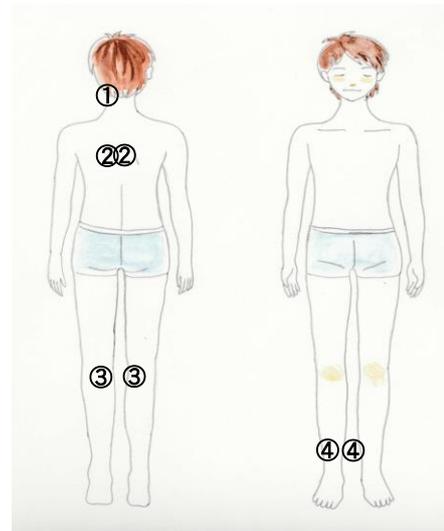
- ・20代前半から2年～3年おきに群発性頭痛に悩まされていたということです。
- ・症状が起こる前兆として目の奥が熱くなるのですが、その時に薬を服用すると頭痛の症状が落ち着くということです。
- ・ただ、服用するタイミングを誤ると効かなくて、そのことで不安がつり、自律神経失調症を発症してしまうようです。
- ・秀鳳に通院しているお母様のお薦めで来院され、予防のために通院し、落ち着いていました。
- ・年末年始の多忙と緊張から再発してしまいましたが、定期的な鍼灸治療により、症状も落ち着きつつあります。

患者様	30代 男性
初診	2020年 5月
既往症	飛蚊症、自律神経失調症
他の症状	首こり、肩こり

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・いつもの症状と違い、頭部のぼせ感が酷く顕著な足先の冷えがみられました。
- ・外は1度の寒さでしたが、背と頭部に発汗がありました。
- ・背中に強い筋緊張があったので、その際に刺激の優しい鍼を施しました。
- ・足先に冷えがありましたので、三陰交と委中に鍼とお灸を施し、下肢の循環を改善しました。
- ・最後に左の眼窩に向け天柱に鍼を施しましたところ、最初に目の奥が熱くなると感じた所に「響き」（鍼の刺激が広がり）、群発性頭痛が落ち着いてきたと喜んでいらっしゃいました。



使用した主要なツボ

- *①天柱（テンチュウ） ②膏肓（コウコウ）
③委中（イチチュウ） ④三陰交（サンインコウ）

■ 初診後の経過

- ・初診後、身体の汗やのぼせは引き、頭痛も落ち着いたようです。
- ・まだ、2日に1回のペースで群発性頭痛が出るようですが、鍼と薬で症状はコントロール出来ているとのこと。
- ・群発頭痛は個人差もありますが、1～2カ月は続きますので、現在も週に2回のペースで治療を継続しています。

■ ひとこと添えさせていただきますひとこと添えさせていただきます

- ・患者様の中には薬が効かない、現代医療では治療法がないなど悩みを抱えた方が多く来院されます。
- ・鍼灸治療のいいところは、人を診て、症状を診て治療ができるという点です。つまり、どのような患者様でも改善の期待が出来るということです。
- ・しかし、鍼灸治療のも得意な点があります。形質的な疾患、ウィルス性の疾患などは現代医療の方が得意とするところ。棲み分けが出来れば、未来は明るいと考えます。
- ・今回のようなケースは、現代医療では原因不明の疾患になるので鍼灸治療で予防しながら症状が悪化した場合は普段と何が違うのか適宜、特効穴などを用いて症状と向き合うことが大切になると考えます。